

# 品質トレサビリティシステムで、クレームリスクを回避

可視化

データ共有

申請事業者：吉玉精鍍株式会社（延岡市）  
業種：表面処理業（めっき加工）

従業員数：89名  
設立：1954年



## 検査の記録を自動で動画と写真に残し、不良の原因調査時間を大幅削減！

### 取組の概要

導入部門：生産部署  
導入業務：受入・出荷業務  
導入目的：受入時・出荷時の製品検査業務の効率化  
導入技術：品質トレサビリティシステム（オリジナル）  
導入手法：検査時にデジタル顕微鏡を使い、モニターに拡大して製品の状態を表示。さらに、顕微鏡とPCを連動させ、動画と写真で製品を表面を撮影し、製品ごとに自動で記録する。  
導入費用：¥2,600千円（税抜）

#### [製品の入荷・出荷時の検査]



### 取組の背景

- 抱えていた問題点
  - ①入荷時と出荷時に小さなパーツの目視検査を行う必要があり、見えづらく、検査員にストレスがかかっている。
  - ②入荷したパーツにめっき加工をした後にキズが見つかった場合、当社での不良なのか入荷時にすでにあつた不良なのかを判別しづらい。
- 解決に向けた課題設定等
  - ①デジタル顕微鏡を導入し、モニターに拡大して投影し、検査の負荷を軽減。
  - ②検査時に、動画と写真にて記録を残すことで、製品不良の際にすぐに検索が可能となる。

### 取組の成果

- ・製品の検査時間を、33%削減  
入荷時と出荷時に、目視にて検査を行う時間  
300時間/月 → 200時間/月
- ・不良の原因調査時間を、97%削減  
不良の原因の調査にかかる時間 1日 → 10分
- ・定性効果
  - \* 目視で見逃した場合でも記録に残すことが可能
  - \* 検査結果を現場以外の事務所の管理者が見ることが可能